

11月5日は
「津波防災の日」

平成29年10月27日

津波を想定した旅客・船舶の 緊急避難体制を実証実験します！

中四国初

～ 津波に対する日頃からの「備え」とさらなる防災意識の向上に ～

「中国地方の防災に関する連絡会※1」緊急輸送専門部会※2は、11月7日(火)に瀬戸内海汽船株式会社の定期航路(広島・呉～松山)を運航する船舶や広島港周辺施設において、旅客船事業者の津波避難マニュアルに基づく緊急避難体制を実証実験します。

津波対策の推進に関する法律に基づく「津波防災の日(11月5日)」は、津波に対する防災意識の向上と適切な避難行動に関して国民の理解と関心を深める取組が全国で進められています。

「中国地方の防災に関する連絡会」緊急輸送専門部会は、大規模地震に伴う津波が発生した場合、交通事業者、地方公共団体、国等防災関係者が連携した緊急対応が重要であることから、広島港(交通結節点)の関係者相互で津波対策について共通の認識を深め、このたび、防災関係者の一層の連携強化を図るため、津波を想定した実証実験を行います。

本実験の内容は以下のとおりです。

- 日時：平成29年11月7日(火) 10:20～12:00(予定)
- 場所：第1会場 広島・呉～松山定期航路 10:20 呉港発 旅客フェリー内
第2会場 広島港フェリーのりば、宇品旅客ターミナル及び周辺施設
(広島市南区宇品海岸 1-13)
- 参加機関：12機関
瀬戸内海汽船(株)、広島電鉄(株)、広島バス(株)、(一社)中国旅客船協会、(株)伏光組(防潮扉管理受託者)、広島県、広島港さん橋管理事務所、広島市、広島市社会福祉協議会、第六管区海上保安本部、広島地方气象台、中国運輸局(順不同)
- 実施内容：旅客フェリー乗客の避難誘導他(詳細は別紙のとおり)

(注)取材を希望される場合には、別紙参加者登録票をご提出下さい。

※1 中国地方の防災に関する連絡会(事務局：中国地方整備局、中国運輸局)とは、広域かつ大規模な災害発生時に中国地方を管轄する防災関係機関が連携し、災害対策を効果的に実施できるよう51機関で構成された連絡会

※2 緊急輸送専門部会(事務局：中国運輸局)とは、大規模な災害発生時に物流と人流の円滑な緊急輸送のあり方等を検討するため、地方公共団体、事業者団体、国で構成された連絡会の下部組織

<お問い合わせ先>

中国運輸局 総務部

担当：平賀・柳井・加藤

TEL：082-228-3434

FAX：082-227-9797

4. 実施内容 別紙

第1会場: 広島・呉～松山定期航路 旅客フェリー内

10:20	10:48	10:48	10:53	10:55	11:05	11:10
呉港出港	津波警報発表	船社/船長情報伝達	船内放送による情報伝達	救命胴衣着用(旅客)	広島港入港	旅客避難誘導(車いす誘導含む。)



第2会場: 広島港フェリーのりば、広島港宇品旅客ターミナル、周辺施設(防潮扉)

10:48	10:49	10:51	11:25
館内(訓練)放送	ターミナル待合客の避難誘導	電停・バス停待合客の避難誘導	防潮扉閉鎖作業



広島港宇品旅客ターミナル概要図



